

まちの話題



新 金ケ崎小学校児童 新聞記者の仕事体験

街地区生涯教育センターと胆江日日新聞社の共催事業『新聞記者倶楽部』が7月27日～8月6日の間（4回）行われ、小学生5人が新聞記者の仕事体験しました。応募のあった金ケ崎小学校の児童を対象に行われた新聞記者体験は、自分で取材先や質問する内容を考え、カメラを持って取材し、校正を重ねて記事を作成し、完成した記事は8月13日付けの新聞で実際に掲載されました。佐藤 竜士郎くん（金小5年）は「文章の構成を考えるのが難しかったけど楽しくできた。特に自分で取材したことを自分でまとめるのが面白かった」と笑顔で話していました。



真剣に新聞を読み込む子どもたち



川遊びを楽しむ子どもたち

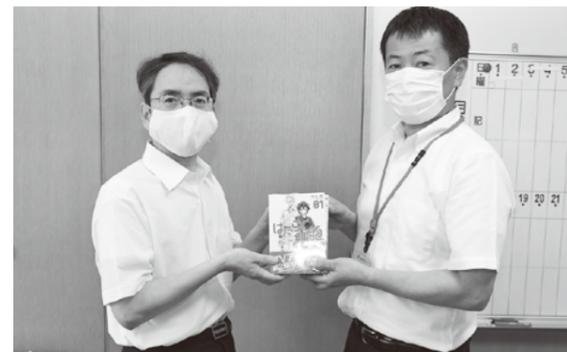


永 キッズくらぶ夏休み体験教室 沢川で川遊び

放課後子ども教室「キッズくらぶ」の夏休み体験教室として、川遊びの自然体験教室が8月4日、永沢川で行われました。町内の小学生21人が参加し、ライフジャケットを着用しタイヤチューブを使って川下りや永沢川に生息する水生生物調査を体験しました。毎年参加している安久津悠斗くん（金小5年）と千葉凌央武くん（金小5年）は「上流のほうの水が深かった。川は寒かったけど楽しかった」と笑顔で話していました。

献 金ケ崎町献血推進協議会 血普及啓発本を寄贈

金ケ崎町献血推進協議会は7月8日、町内小中学生の献血に対する意識を高めるため、普及啓発本を寄贈しました。金ケ崎町献血推進協議会千田 豊 会長は「まだ献血ができない小中学生が、この本を読んで献血に興味を持ってほしい」と話していました。「普及啓発本「はたらく細胞」は町内小中学校と図書館で読むことができます。



笑顔みせる三ヶ尻小学校田之岡校長（左）と千田会長（右）

賞賛状を受け取り笑顔をみせる金ケ崎町交通安全対策協議会の皆さん



無 交通死亡事故抑止活動2年間「賞賛状」伝達 事故を願い交通安全誓約書提出

町は、7月29日で交通死亡事故ゼロ2年を達成しました。7月30日には、岩手県警察本部から死亡事故ゼロに対する賞賛状を受け取りました。町は、引き続き死亡事故ゼロの活動を継続するため、金ケ崎町交通安全対策協議会の会員とともに、町民や町内団体などから集めた1万2,495人分の交通安全誓約書を奥州警察署に手渡しました。

コ アマビエの七夕飾りを作成 コロナ収束を願う

白糸まちなみ保存会の女性会員で構成されている「しらいと」は7月下旬、新型コロナウイルス感染症の早期収束を願ってアマビエ仕様の七夕飾りを作成し、8月11日まで展示しました。しらいと代表の横田恵子さんは「コロナ退散を会員のみinnで考えた。早くコロナが収束して皆さんが元気に伝建群を訪れるようになってほしい」と話していました。



七夕飾りとともに笑顔をみせる「しらいと」の皆さん

親戚に囲まれ笑顔をみせるミツエさん



祝 長寿祝品贈呈式 元気100歳誕生日

及川ミツエさん（三ヶ尻十三本塚）は8月3日、満100歳の誕生日を迎えました。ミツエさんは、大正9年に百岡で生まれ、23歳のころに故・藤見さんと結婚。昭和31年に夫を亡くしてからは、女手ひとつで4人の子どもを育てました。手先が器用で、歌を歌うことが好きなミツエさんは「知らないうちに年を取った。みなさんのおかげで100歳を迎えた」と笑顔で話していました。